

項番	項目	方針
1	テスト工程共通要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受託者は本業務で行うテストの環境及び手順に関して計画書（以下、「テスト計画書」という。）を定め、テスト仕様書を作成し、テストを実施し、その実施結果及び成果物の品質に責任を負うこと。</li> <li>・テスト計画書の策定に当たっては、本機関職員の作業負荷の軽減に配慮すること。</li> <li>・テストに使用する環境、ツール等については、受託者において用意すること。</li> <li>・テスト実施後は、計画時に策定した指標とテスト結果を用いて、品質が確保されていることの確認を行うこと。</li> <li>・各工程のテスト結果を次の工程に着手する前に報告すること</li> </ul>
2	テストデータ要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・結合テスト及び総合テストに用いるデータは、原則として、受託者にて用意すること。</li> <li>・テストに用いるデータは、受託者にて管理を実施しセキュリティを担保すること。</li> </ul>
3	結合テスト要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・結合テストは、「1項.テスト工程共通要件」に示す要件に従って実施すること。</li> <li>・スイッチング支援システム内結合テスト、広域機関内結合テスト、送配電システムとの結合テスト、小売事業者システムとの結合テスト等のテスト区分を設け、段階的に結合することにより、品質を確保すること。</li> </ul>
4	総合テスト要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合テストは、「1項.テスト工程共通要件」に示す要件に従って実施すること。</li> <li>・小売事業者システム～送配電システムまでを連携し、本番環境でユーザが行う業務運用において、業務要件を満たし、現行システム同様の業務ができることを確認すること。</li> <li>・非機能性の確認として以下のテストを実施すること。</li> </ul> <p>①性能・負荷テスト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・性能に係る要件(応答時間等)に適合しているか確認する。</li> <li>・想定される負荷をかけ正常に機能するかを確認する。</li> </ul> <p>②信頼性テスト・信頼性に関する事項に適合しているか確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・可用性の確認として、業務停止となる障害の全ての範囲を確認すること。</li> <li>・ソフトウェア、ハードウェア、回線等について、障害発生時の処理を確認する。</li> </ul> <p>③セキュリティテスト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・セキュリティ要件(主体認証、ウィルス対策、暗号化、ログ管理等)に適合しているか確認する。</li> </ul>

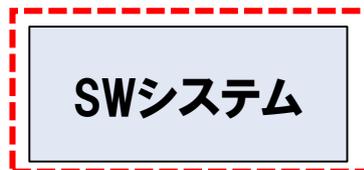
項番	項目	方針
5	受入テスト要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受入テストは本機関が主体となって行うが、本機関の求めに応じて受入テストをサポートするための体制を確保すること。</li> <li>・受入テストで必要となるテスト環境・データについては、受託者が本機関からの依頼内容を基に用意すること。</li> <li>・受入テストの実施にあたり、本機関職員の作業負荷の軽減に配慮すること。</li> <li>・受託者は、受入テストで確認された障害について、解析を行い、原因及び対応方針案を提示すること。</li> <li>・受託者は、上記の提示に基づき本機関が決定した障害についての対応方針に従い、プログラム及びドキュメントを修正すること。</li> </ul>

結合テスト・総合テストの検証レベルは以下のとおり。

検証レベル	検証概要	検証内容	環境
1	疎通チェック	SSL通信、SOAP通信レベルのみの確認。 通信形式や、証明書等の確認を行う。	本番、スタブ/API
2	入力チェック	呼び出し項目の形式チェック、戻り値の受け入れチェック	スタブ/API
3	業務チェック	業務フローに沿った、データ項目の連携試験までを含む	本番

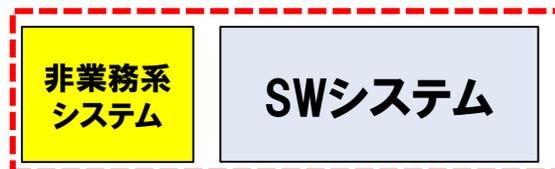
結合テスト・総合テストのイメージは以下のとおり。

■ 結合テスト (スイッチング支援システム内)



- SW支援システム内で正常動作を確認すること

■ 結合テスト (広域機関内)

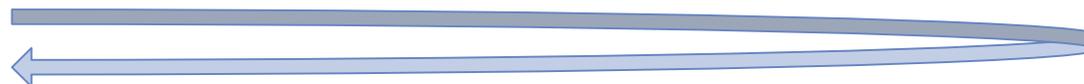


- 広域機関内の非業務系システムと結合し正常動作を確認すること

■ 結合テスト (送配電システム)

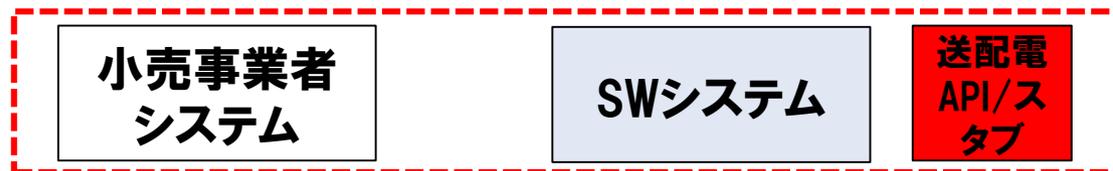


検証レベル1~3



- 送配電システムと連携し正常動作を確認すること  
 検証環境のある送配電システムとは検証レベル1~3まで実施し、検証環境の無い送配電システムとは検証レベル1または2までの試験を想定する。  
 送配電システム 10社全てと実施するかは必要性を検討し調整とする。

■ 結合テスト (小売事業者システム)



検証レベル1~2



- 小売事業者システムと連携し正常動作を確認すること (1~2社)  
本試験を省略し総合テストのみで確認を行うかは連携試験を希望する小売事業者の数により調整とする。

■ 総合テスト (小売事業者システム~送配電システム)



検証レベル3



- 小売事業者システムから送配電システムまで連携し正常動作を確認すること (小売事業者 1~2社)  
送配電システムは検証環境のある送配電システムと実施する。